

令和7年度第1回大郷町地域公共交通協議会会議録

日 時：令和7年9月10日（水）

午後2時～2時40分

場 所：大郷町役場3階大会議室

【出席者】

株式会社ミヤコーバス 長尾仙台・石巻地区支配人、株式会社おおさと地域振興公社 高橋部長、大郷町区長会 板宮会長、大郷町社会福祉協議会 伊藤会長、大郷町PTA連絡協議会 高橋大郷町立大郷小学校PTA会長、東北運輸局宮城運輸支局輸送・監査部門 関澤主席運輸企画専門官、宮城県企画部地域交通政策課 高橋主事、宮城県仙台土木事務所道路部 佐藤技術副参事兼総括次長、大和警察署交通課 西川課長、塩釜警察署交通課 馬場課長、大郷町議会 赤間議員、石川町長、地域整備課 遠藤課長、学校教育課 角田課長、保健福祉課 小野課長

（事務局）まちづくり政策課 高橋課長、相澤課長補佐、若菱主事

【欠席者】

宮城県交通運輸産業労働組合協議会 結城事務局長

委員等名	内容（要約）
5. 説明事項	(1) 大郷町地域公共交通の現況について (2) 大郷町地域公共交通協議会について
6. 協議事項	(1) 地域公共交通計画について (2) 地域公共交通再編に向けた調査について (3) 地域公共交通の再編スケジュールについて
赤間委員 (議会)	公共交通計画について、現在運行している住民バス、ふれあい号、有償タクシー、スクールバスなどを、最終的には一つに集約していくことが本計画の進め方なのか。
高橋課長	現在、住民バスやスクールバスなど複数の交通手段があるが、これらを統合できるかどうかも含めて今後協議が必要だと考えている。既存の手法以外にも、地域住民の協力を得た交通手段なども含め、事務局で情報を収集しながら提案していきたい。
伊藤委員 (大郷社協)	大郷町の実情として核家族化と高齢者世帯の増加があり、公共交通がない地域では移動が困難である。特に坂道や細い道路が多い地域では、現在の「ふれあい号」による通院支援が非常に喜ばれている。災害時や大雪の際は自主防災組織で除雪を行い病院へ行ける体制を整えているが、買い物や通院に不便を感じている高齢者は多い。弱者の送迎がスムーズに行われる体制を整えることが重要である。
石川会長	地域の自主防災組織による支援状況を踏まえ、さらなる利便性向上を求める意見として承った。
高橋課長	現場の細かな実情を教えていただき感謝する。免許返納の増加などの状況も見据え、どのような公共交通が理想的なのか、いただいた情報を参考に検討を進めていきたい。
赤間委員 (議会)	今後実施するアンケートについて、以前の若者との意見交換では「土日の運行」や「朝晩の遅い時間帯の運行」を希望する声が多く出されたため、詳細な調査をお願いしたい。また、仙台圏へのアクセスとして、現在は松島方面への接続が主だが、利便性を考慮して岩切駅へ直接接続するルートも検討の余地があるのではないか。
高橋課長	アンケートでは運行時間帯や休日運行に関する満足度・重要度の項目を設けており、自由記載欄で具体的な時間帯等の要望を把握する予定である。アンケートはまだ案の段階なので、後ほどでも追加の意見があればいただきたい。また、岩切駅接続については、利便性は向上するものの、需要、効率性、経費面などを総合的に判断する必要

	があるため、検討課題の一つとして皆様と協議していきたい。
高橋委員 (PTA)	小学校ではスクールバスが全地区運行され便利だが、中学校では大松沢地区のみである。PTA内でも他地域での運行を望む声があるため、再編計画の中でスクールバスのあり方も含めて協議してほしい。また、アンケートについては公共交通を利用していない層も回答するため、現状の路線や時間がわかる資料を添えるなど、回答しやすくなるよう配慮を求める。
高橋課長	アンケート配布時には、現状を把握できる資料の提供を検討する。利用していない層も含め、将来的にどのような交通なら利用したいかという視点で意見を収集したい。PTAの場などでも情報収集のご協力をお願いしたい。
石川会長	利用者の声は非常に重要であり、今回出された意見を大切に進めていきたい。
高橋委員 (県交通政策課)	県側では県立高校の再編計画を検討中であり、通学時間の許容範囲（30分以内が理想等）と公共交通の有無が進学選択に影響している。大郷町は仙台市への通学者が多いため、若年層の視点からも仙台方面へのアクセス向上は重要であると考える。
高橋課長	県のデータや知見は非常に参考になる。今後もアドバイスやデータ提供等の協力をお願いしたい。